

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字をか
かんじ か
書きましよう。

おく き
送りがなにも気をつけましよう。

① き
が ひとつ
で き
、 ふたつ
で はやし
、

みつつ
で もり
。

② はっぱが いち
まい、きいろになる。

③ もく
ようびは、 もり
にえんそく。

④ に
ひきのめだかと さん
びきのあめん
ぼう。

⑤ はやし
の こ
かげで、 ひと
やすみ。

つぎ ぶん
次の文の にあてはまる漢字をか
きましよう。

おく き
送りがなにも気をつけましよう。

① しがつ
に にゆうがく
おめでとう。

② はりきつて がつこう
にいく。

③ き
にのぼつて、 じき
をみる。

④ げつ
ようび、 こう
ていであそぶ。

⑤ へいって
くやに きたのは、 よにん
。

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。
かんじ か

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ごがつ に ご ひきのこいのぼり。

② みぎあし で いつつ の いし をける。

③ いし だんをかけ あし でのぼる。

④ みぎ みて ひだり みて あし あんぜんかくにん。

⑤ ひだり にまがつて、 こう もんに はいる 。

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① 、 に がふる。

② あさ 、とりをする。

③ のかえるがケロケロとなく。

④ につゆ をつむ。

⑤ んぼのあぜみち、のかかし。

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
送りがなにも気をつけましょう。

① しちがつなのか
は たなばた
まつり。

② そら
にはきれいな あま
の がわ。

③ てん
までとどけ、 すか
スカイツリー。

④ ゆう
がたの そら
は、あかねいろ。

⑤ つめたい かわ
に、ほたるがとぶ。

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① は おきでげん 。
はちがつようか はや

② あさがおに、 たつぷり やり。
みず

③ よう に、 のたねがとれた。
すい び やつつ

④ うみで を 。
かい みつける

⑤ たまりに、 をつける。
みず き

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① くがつ(月)のか
は、えん そく
にいく。

② はなび
が あがつて
 うえ
を みる。

③ つち
をもち あげて
、たねをうえる。

④ か
よう び
に、 きゆう
ひきのとんぼを

みつける。

⑤ (月)の
のひつじぐもが、 そら
にうかぶ。

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。
かんじ か

おく
送りがなにも気をつけましょう。

①

じゅうがつ

は、お

つきみ

でおだんごをたべる。

②

ど

よう

び

に

がつこう

にいく。

③

こう

はく

たまいれ

、

おおだま

おくり。

④

あかい

ゆうひ

にそまる、

しろい

すすぎ。

⑤

とおか

で

じつ

ぴき、

はつか

で

にじつ

ぴ

きのいわしをたべる。

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① やま
にのぼって、もみじがり。

② さかを した
に おりる
と、 むら
があつた。

③ かわしも
で、さかなをつり あげる。

④ たき び
をする。

⑤ いし
やきいもは なか
がホカホカ。

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① て
ぶくろをして いぬ
のさんぽ。

② いちようのはっぱを ほん
のしおりにする。

③ き
によりかかって、
 やすむ。

④ にち
よう び
に まち
くいく。

⑤ ふゆ やすみ
にあつい ほん
をよむ。

国語 一十一 (書き)	第一学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。
おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① いちがつついたち、お しょうがつ。

② め で みて たのしみ、 くち でもたのし

むおせちりようり。

③ ただしい しせいで、かきぞめ。

④ お としたま でもらったお かね をもつて、

かいものに行く。

⑤ きん よう び に、 ねん がじようを みる。

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① にがつふつか
に いぬ
が うまれた
。

② みみ
をすますと、ゆきがふる
 おと
。

③ ゆきの じよおう
が そら
をとぶ。

④ みみ
あてをした
 おんな
の こ
があるいている。

⑤ おおきな
 いぬ
が いりぐち
にいた。

国語 一—十三 (書き)	第一学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
送りがなにも気をつけましょう。

① さんがつみつか
はもものせつく。

② たけ
やぶに、つくしが でて
きたよ。

③ た
んぼではたらく ちから
もちで、 おとこ。

④ ちから
を だして、 た
んぼをたがやす。

⑤ あおぞら
にお ひ
さまポツカポカ。

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① じゅうえん
が じつこ
で ひやくえん
。

② ちいさい
けーき
ケーキをかう。

③ ひやくえんだま
を じつこ
ためて、 せんえん
。

④ しろい
 か
びんに、きれいな はな
を いれる
。

⑤ こ
どものおいおい、おたん じょうび
。

国語 一—十五 (書き)	第一学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
送りがなにも気をつけましょう。

① みぎ みて、 ひだり みて、 くるま
をかくにん。

② あかい しょうぼう しゃ
がはしっている。

③ てんとう むし あか
も いろ。

④ あかい いと
をむすんで、あやとり。

⑤ せんせい
にかんじをおしえてもらう。

つぎ ぶん
次の文の に当てはまる漢字を書きましょう。

おく
送りがなにも気をつけましょう。

① いすから 、 をよむ。

② れつの とうは、よしのさんです。

③ をたくさんかく。

④ らい は、。

⑤ といっしょに に行く。